

地域医療連携 News

平素より中国労災病院が大変お世話になり、誠にありがとうございます。

地域医療連携News第193号を発行致しました。今後とも連携の程よろしくお願い申し上げます。

中国労災病院理念

働く人と地域の人のために患者中心の良質な医療を提供します。

中国労災病院の基本方針

- 個人の尊厳と権利を尊重し、高度で安全な医療を推進します。
- 地域の医療機関と連携し、救急・急性期から慢性期までの一貫した医療を実践します。
- 最新の医学に基づいた専門的な医療を実践します。
- 働く人の健康を守り、治療と仕事の両立を支援します。
- 周産期医療を充実させ、未来を担う子供たちを支援します。
- 優れた人材を育て、働きがいのある職場づくりを推進します。

初期臨床研修の理念

医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学・医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病態に適切に対応できる基本的な診療能力を身につけると共に、崇高な信念と人格をもち、生涯にわたり自己研鑽する態度を身につけた自立した医師を育成します。

初期臨床研修の方針

- ①医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）を修得します。
- ②医学・医療における倫理性を理解し、安全な医療の提供が行えるようにします。
- ③救急医療やプライマリ・ケアなどの診療能力を修得します。
- ④患者中心の思考・行動をする姿勢を修得します。
- ⑤他の医療スタッフ、患者や家族と協調し、良好な関係を築けるようにします。
- ⑥地域の中核病院としての役割を理解し、地域の病院と連携し、地域医療を学びます。
- ⑦症例を通じて、診断・治療の結果だけでなく、プロセスを学びます。
- ⑧他の医師や同僚とともに研鑽しながら、生涯にわたって学ぶ姿勢を修得します。

1. | 令和7年(2025年)度を迎えてご挨拶

— 中国労災病院は開院70周年です! —

令和7年(2025年)度を迎えましたので改めてご挨拶申し上げます。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年末から今年の年初めにかけてインフルエンザとコロナ感染症が猛威を振るい、当院も年末年始と多くの患者さんが来院・搬送され、今年の年初めから早3か月を迎えています。全身状態が悪化して体力が落ちた高齢の方々がなかなか体調の回復が短期間で行えず、異例ともいえる多くの入院患者さんをこの2か月以上看させて頂いています。

一方で、二期目のトランプ政権が発足後次々と新たな政策を打ち出し、自国や近隣国のみならず、全世

界を巻き込んで急速に、紛争や安全保障、貿易を含む経済、新たな枠組みでの世界情勢の変化が起きています。気候変動による自然災害、更には日本でも山林火災の発生と延焼地域の拡大など、ロ

サンゼルスでの山林火災を彷彿させる様相を呈しています。(この原稿を書いている3月始めの状況から)

このような大きな世界の変化の中、当院は本年3月7日に開院70周年を迎えました。ヒトで言えば古希に相当します(実は私も4月に満70歳を迎えます)。少



中国労災病院 院長
栗栖 薫

し詳しく解説します。中国・四国地方に労災病院を
一か所設置するという情報を得た呉市は、昭和27年8
月7日、労災病院誘致期成同盟会（会長・鈴木術呉
市長）を設立し、「将来の中国・四国地方の重工業中
心地としての発展過程」にあり「かかる好適地に労災
病院が設置されることは中国・四国9県下55000の
事業経営者並びに94万人の労働者の熱烈なる要望
である」との理由を掲げ誘致運動を積極的に行い、
昭和29年に国有地提供を受け工事に着工し1年足
らずで開院までこぎつけました。昭和30年(1955年)
3月7日に内科、外科、整形外科の合計50床で初代
院長に伊藤肇先生を迎え開院しました。この9県の労
災病院誘致期成同盟会の思いを込めて、名称として
広島でも呉でもなく、中国が付けられました。（呉市史
第7巻 p823-p824）

令和7年の新年のご挨拶を掲載した関係誌やHP
でも述べさせて頂きましたが、再度改めて感謝申し上
げます。これまでの中国労災病院の発展は多くの方々
のご支援によりなされてきました。改めて、開院か
ら持続的に指導を頂きました、関係の皆様は厚く御
礼申し上げます。ありがとうございました。この間有形
無形のご支援とご援助を頂きました多くの方々に心
から感謝申し上げます。また時には、辛口のご批判や
ご叱責など賜り、その都度病院の質的改善に大いに
役立ちました。本当にありがとうございました。今年の
連携懇話会は、当院の70周年記念事業と一緒に開
催させて頂く方向で計画しております。改めてお知ら
せさせて頂きませんが、9月18日（木）夕刻から呉阪急
ホテルにて開催予定です。カレンダーに記載して頂け
ますと幸甚に存じます。

この70年間に社会は大きく変化しました。医療の
世界もご多分に漏れず大発展しております。この点に
つきましても既に記載させて頂いています。時代の流

れに乗り遅れないように、むしろ先取りして、働く人々
と地域の皆様に患者中心の質の高い医療をしっかりと
提供し続けて参りたいと存じます。

当院の名前の由来を先ほど述べましたが、本来の当
院の目的である働く人の治療と仕事の両立を支
援する、いわゆる治療就労両立支援センターが当院
に設置されております。令和5年からは初期臨床研修
医の必修プログラムとして両立支援も取り込んで教
育しており、一定の成果を上げております。医療の原
点は救急にあり、と言われてはいますが、断らない救急
を目指して、職員が夫々の立場で対応してくれていま
す。急性期医療に対応できる地域中核施設としての
基本方針に変わりはありません。その中であつても
地域の皆様から「面倒見のいい病院」との評価を裏
切らない対応を継続して参ります。

令和7年の干支にまつわるお話を既に述べさせて
頂きました。乙巳（きのと・み）でありまして、「再生や変
化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」になると
考えられます。今年の1月6日に開催した仕事始め式
にて、当院のChugoku Rosai HospitalのRosaiのRを
頭として、Reborn精神的に生まれ変わる、
Renovation修復・刷新、Reproduction複製・繁殖、そ
してRegeneration再生・復興、という言葉の流れを紹
介しました。今年度も、合言葉は”R”ということで、伸び
ていきたいと思っております。引き続きのご支援、ご指
導をどうぞよろしくお願い申し上げます。



2. 中国労災病院市民公開講座を開催

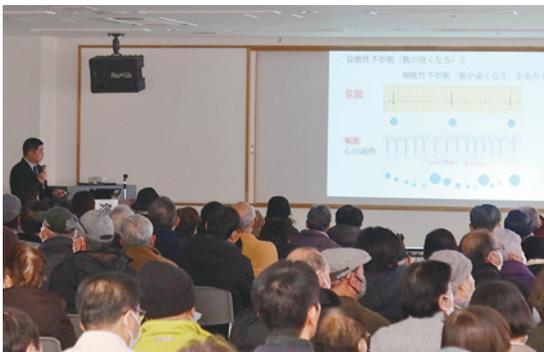
令和7年1月19日(日)に広まちづくりセンターにおいて、「脳と心臓を守ろう!! ～最新治療とリハビリ～」をテーマに当院主催の市民公開講座を開催しました。

栗栖院長の開演挨拶から始まり、大切な脳と心臓を守るための予防や病気との付き合い方について、松田循環器内科部長、^{まがき} 籓脳神経外科第二部長、金子言語聴覚士、林崎理学療法士、近下心不全看護認定看護師による講演を行いました。

また、お忙しい中、新原芳明呉市長が駆けつけてくださり、御挨拶をいただきました。

当日は、約160名の方にご参加いただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

次回は4月19日(日)、焼山の昭和まちづくりセンターにて、「知っていますか？ 最近のひざのお話」をテーマに市民公開講座を開催いたします。是非ともご参加ください。



中国労災病院 市民公開講座

知っていますか？
最近のひざのお話

参加費 無料 2025年4月19日(土)
15:00~17:00 受付開始14:30
会場：昭和まちづくりセンター3階ホール

講演内容

「ひざが痛い！」から、ひざ手術・術後の生活までの実際について解説します。

開会挨拶

中国労災病院 整形外科部長 藤本 英作

1. 膝の痛み 整形外科外来を受診したら何をするのか

医療法人社団わらび会 脳田医院 院長 脳田 匡

2. 膝痛の手術治療(人工膝関節を中心に)

中国労災病院 整形外科部長 藤本 英作

3. 入院中のリハビリは何をするの？

中国労災病院 中央リハビリテーション部長
膝手術後の入院生活とリハビリを紹介 岩見 憲司

4. リハビリって大事なの？ ホントに良くなるの？

医療法人社団わらび会 脳田医院 作業療法士
奥村 浩一

閉会挨拶

中国労災病院 院長 栗栖 薫

お問い合わせ 0823-72-7171 中国労災病院 総務課

主催 中国労災病院・中国労災病院 勤労者医療総合センター 共催 医療法人社団わらび会 脳田医院 後援 呉市

参加費無料、事前申し込み不要です。当日会場へお越しください。

公共の交通機関をご利用ください。会場最寄りのバス停は「昭和市民センター前」です。
お車でお越しの場合、臨時駐車場(呉信用金庫)の使用もできますが、駐車場の数が限られます。
また、近隣の小売店等への駐車はお控えください。

3. | 連携室からのお知らせ

●電子処方箋を導入いたしました。

2025年3月11日(火)から当院も電子処方箋を導入いたしました。

電子処方箋は、今まで紙でのやりとりしていたデータを電子化し、クラウド上に構築されている「電子処方箋管理サービス」を介して、医療機関・薬局間での処方・調剤情報や、その疑義照会等の情報連携を可能としています。

さらに、その患者さんの全国の医療機関・薬局での過去の薬剤情報も参照することができるため、質の高い医療サービスの提供が期待できます。

しかし、これまでどおり、紙の処方箋の運用も引き続き行っておりますので、ご安心下さい。

●2025年4月以降の外来診療の変更について

下記のとおり変更となります。よろしくお願いいたします。

【整形外科】 水曜日の初診(急患を除く)を休診いたします。

【循環器内科】 心エコーの連携予約枠を開設しました。(平日14時から。心電図検査も同日実施します。)
ご予約の際は紹介状に“心エコー検査”ご希望の旨記載をお願いします。

【麻酔科】 ペインクリニックの診察を休止いたします。

●連携WEB予約システム導入いたします。

連携WEB予約システム「やくばと」(詳細別紙)の運用を**2025年5月1日**から開始いたします。

ご利用の手順の概要は下記のとおりです。

- ①医療機関毎のアカウント登録をお願いいたします。
- ②連携医療機関の先生方は、当院にご紹介を希望される患者さんのお名前、受診診療科、疾患、患者さん連絡先(携帯電話)のご記載、紹介状の添付を「やくばと」上で行っていただきますよう、お願いいたします。
フリー記載枠もございますので、早めの診察のご希望等あればご記載ください。
(急患や、直近の日程(申込日から3日以内の診療予約を除きます。))
- ③連携医療機関の先生方が②で登録後、患者さん又は患者さんご家族の連絡先にショートメールが届きます。
- ④患者さん又は患者さんご家族は、③で届いたショートメールのリンクからご自身で直接ご希望日のお申込みをしていただきます。当院地域連携室との間で日程調整をさせていただきます。
- ⑤診療のご予約が確定いたしますと、ご紹介いただきました連携医療機関の先生方の「やくばと」WEB上管理画面で受診予約日時をご確認いただくことができます。

こちらをご利用いただくことにより、先生方はご紹介の際の手間の簡略化、紹介患者さんの管理、また患者さんはクリニック等で当院からの診療予約の返答待ち時間がなくなる等の効果が得られるのではないかと想定しております。

なお、従来のFAXによるお申込みも引き続き可能です。よろしくお願いいたします。

地域医療連携ニュース第193号

〒737-0193 広島県呉市広多賀谷1-5-1Tel.0823-74-0321Fax.0823-74-6260
中国労災病院 患者サポートセンター <https://www.chugokuh.johas.go.jp/regionalPartner/>



発行日：令和7年4月1日